

平成31年度 事業報告書

(自 平成31年12月1日 至 平成31年11月30日)

公益財団法人つなぐいのち基金

<目次>

1.平成31年度事業の概観	3
(参照：平成31年度の事業計画における目標)	3
■平成31年度の実績概要 5つのポイント	3
2.公益目的事業（助成事業について）	4
■公益事業目的.....	4
■事業の趣旨	4
助成事業.....	4
■平成31年度助成事業の概要	4
■平成31年度 決定助成先.....	5
■参照：2020年度（令和2年度対象事業）の助成先募集の概要.....	6
助成事業のための啓発・広報活動について.....	7
■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動 「あいりすプロジェクト」	7
■女子高生による助成先の取材レポート.....	7
■創立10周年（公益法人7周年）に向けた活動予定.....	7
■活動報告書／会報の作成.....	7
3.資金調達について.....	8
■ 寄付金等 収益の概況	8
■ 収益の推移グラフ	8
■賛助会員の募集及び会費収入について.....	9
■寄付金	9
4. 管理運営状況について.....	9
■組織体制強化の必要性に向けて	9
■事業運営会議体の運営状況	9

1. 平成31年度事業の概観

(参照: 平成31年度の事業計画における目標)

《平成31年度の事業計画における目標》 公益5周年記念と共に次のステージへの飛躍に向けた準備

公益移行認定より平成31年度で5周年を迎えます。

直近2事業年度はスタートアップ公益法人から脱却していくため、財務基盤の確立を最優先事項とし、同時に公益目的事業である助成事業をより充実させていくことに注力することで事業全体の基盤強化をしてまいりました。

平成31年度は、公益法人として信頼獲得の組織基盤強化を継続、助成事業のメニューの拡充とともに、助成事業および公益5周年記念として当財団についての社会的な認知の向上と支援者の要望および要支援者ニーズの再確認のための調査等を実施し、次の5年の事業展開を見据えた準備ともなる事業計画を推進していく。

- ◆公財団法人として必要となる財務基盤の強化、事業のフィージビリティとガバナンスの確保を継続していく。
- ◆公益5周年を機に、次のステージに向け、社会的認知の向上と求められる事業に関する調査を実施する。
- ◆公益10周年に向けの新たな事業展開も視野に、助成事業の革新と実績を積み重ね公益の増進に寄与する

■助成事業スケジュール想定と考え方

2019年度 1Q	助成金支給先の公募および選考 公益5周年記念イベントおよびキャンペーンの開催
2019年度 2Q	助成先支給と一昨年度支給先の報告の取得 支援者。要支援者ニーズの調査・把握
2019年度 3Q	冠基金の本格募集開始 冠基金助成金の選考 提供を開始
2019年度 4Q	新たな助成プログラムの検討・準備 新事業の検討・準備(変更認定申請)

■平成31年度の実績概要 5つのポイント

- ① 助成事業の平成31年度と併せた形の助成事業の運営
- ② 下記の5つの課題についての継続した取り組み
- ③ 総額150万円助成の連続実施(100万円超3年連続)
- ④ 新助成プログラム「継続助成」の支給開始
- ⑤ 運営基盤強化と記念イベントの年度繰り越し(公益5周年から創立10周年記念へ)

全体的にまだまだ大幅に対応不足であることは否めない状況ですが、現状の当財団にできることに対しては着実に取り組んでおります。税額控除適用法人としての証明取得、助成金の増額と安定供給、高校生ボランティアとの協働や事務業務委託などを活用し、少しずつではありますが一定の成果も上げてきております。

(事業運営における5つの課題)

1. 公財団法人として、継続的に事業運営するために必要となる財務基盤の強化および確立すること。
2. 公益法人として社会から信頼されるための事業のフィージビリティとガバナンスを確保すること。
3. 事業規模確保による助成事業の拡大と平成31年度以降も視野に公益の増進に寄与すること。
4. 立入検査における指摘事項への対応し事務を改善すること。
5. 助成先ニーズと非営利セクター環境の変化に対応した新たな助成プログラムを導入すること。

つきましては、事業活動の報告を以下の通りいたします。

2. 公益目的事業(助成事業について)

■公益事業目的

児童養護施設等に入居を余儀なくされた児童を支援する団体への助成事業

■事業の趣旨

本事業は、児童養護施設をはじめとした社会的養護施設、又は、社会的養護を必要とする児童を支援する団体(以下、「児童支援団体」とする。)に助成を行うことにより、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

具体的には、家庭での虐待や貧困、親との死別などにより、社会的養護施設に入所せざるを得なくなった0歳から20歳の子供たちや、小児がん等の重度の病気のために、入院での闘病生活を余儀なくされている子供たちを養護するため、このような社会的ハンデを抱える子供たちを支援する団体に対する助成を行い、もって、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

助成については、対象事業をより効果的なものとするため、助成金支給に加え、必要に応じてボランティア等が無償で支援する。

本助成事業は上記の目的実現に資するため、以下の条件を満たす活動を助成の対象とする。

助成事業

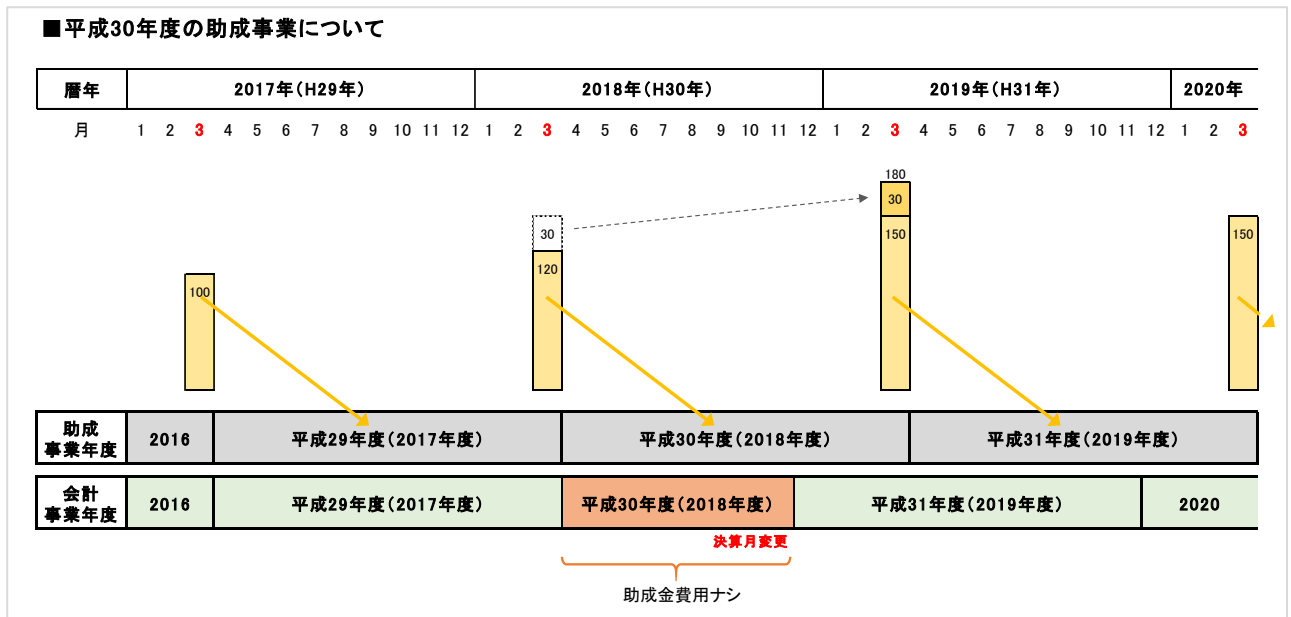
■平成31年度助成事業の概要

(昨年度事業報告から再掲)

平成31度は決算月の変更により、助成募集・支給は事業年度をまたいで平成31年度の実施とします。

これまで次年度助成対象事業原資を当該年度に計上してきましたが、平成31年度に決算月変更したことにより、平成31年度からは会計年度と助成年度を同一年度として事業運営を実施可能となります。

下記の通り、受益者である助成先は、不利益を被ることなく、これまでよりも分かりやすい案内にて助成金の機会を得ることができるようになります。



上記のとおりですので、平成31年度会計については助成金の支給がございません。

(※平成31会計年度は、平成29会計年度より繰越30万円をプラスして180万円を支給原資とします)

■平成31年度 決定助成先

特定非営利活動法人NCMジャパン

育て応援 こども居場所支援

子どもの貧困問題における自分の居場所がないと感じる子どものためのこども居場所支援事業支出します。



早稲田大学里親研究会

子どもの権利条約を基礎とした

社会的養育実現のための実践的研究事業

児童虐待の解決めざして当事者、里親、施設・行政職員、研究者、マスコミ等が集まって検討し、成果を発信



児童養護施設 埼玉育児院

里親制度普及講座

里親制度普及講座 内容：里親関連ドラマ上映、制度説明。里親制度の認知を深め、里親希望者を増やす。



任意団体あったかキッチン水元

こども食堂「お弁当の個別配達プロジェクト」

経済的に困難を抱える家庭、ひとり親家庭の子どもを含む地域の子どもたちへ食事と居場所の提供。助成対象事業として明年の夏休みに「お弁当プロジェクト」事業を実施。



特定非営利活動法人フェアスタートサポート

静岡県での児童養護施設に向けた冊子「仕事図鑑」作成配布事業
静岡県内の協力企業の情報を掲載した冊子「仕事図鑑」を作成し、県内の児童養護施設へ配布するキャリア教育事業。



特定非営利活動法人

フードバンク北九州ライフアゲイン

もがるかキッズクラブ「わくわくイベント」

子どもの貧困の課題解決の一つとして、経済格差の影響を受けやすい学校外活動・教育の機会を提供する事業



特定非営利活動法人great delight

いわき市スタディクーポン配布事業及び事業広報

いわき市内における貧困家庭へのスタディクーポン配布実施に係る直接費用への活用及び広報の実施



平成31年度助成募集に関する状況

多くの素晴らしい事業の応募ありがとうございました。

フェーズ	団体数	備考
助成申請エントリー	74	全エントリー数
助成要件 充足団体	32	書類不備団体除く
調査結果後候補団体	25	基礎選考通過
選定委員会決定団体	7	本年度助成先

■参照：2020年度(令和2年度対象事業)の助成先募集の概要

児童福祉に目的とした、社会的ハンデを抱える子どもたちを対象とした支援事業、支援活動、支援プロジェクト等に対して 助成金(助成総額は150万円です。)を支給します。

助成金の種類は下記の3種類です。

① 通常の「つなぐ助成」

1団体 10~50万円の単年度での助成金を支給します。

事業計画・実施・広報・取材対応・報告など「8.助成金の交付および被助成団体の義務について」を1団体で担っていただくことが前提です。

② 継続助成

最大3年間で総額60~120万円の助成金を支給します。(申請時に簡易ロジックモデルを作成)

1年間の事業終了毎に「更新申請書」を提出いただき、継続に関する審査を行います。

【募集数】 助成先 3~7団体を予定しています。

【募集期間】 2019年12月15日(日)~2020年2月16日(月) 23:59まで

【実施時期】 2020年4月から2021年3月に至る期間に実施されるもの

※ 複数団体でのコレクティブ・インパクトを意識した応募の場合は最大150万円となります。

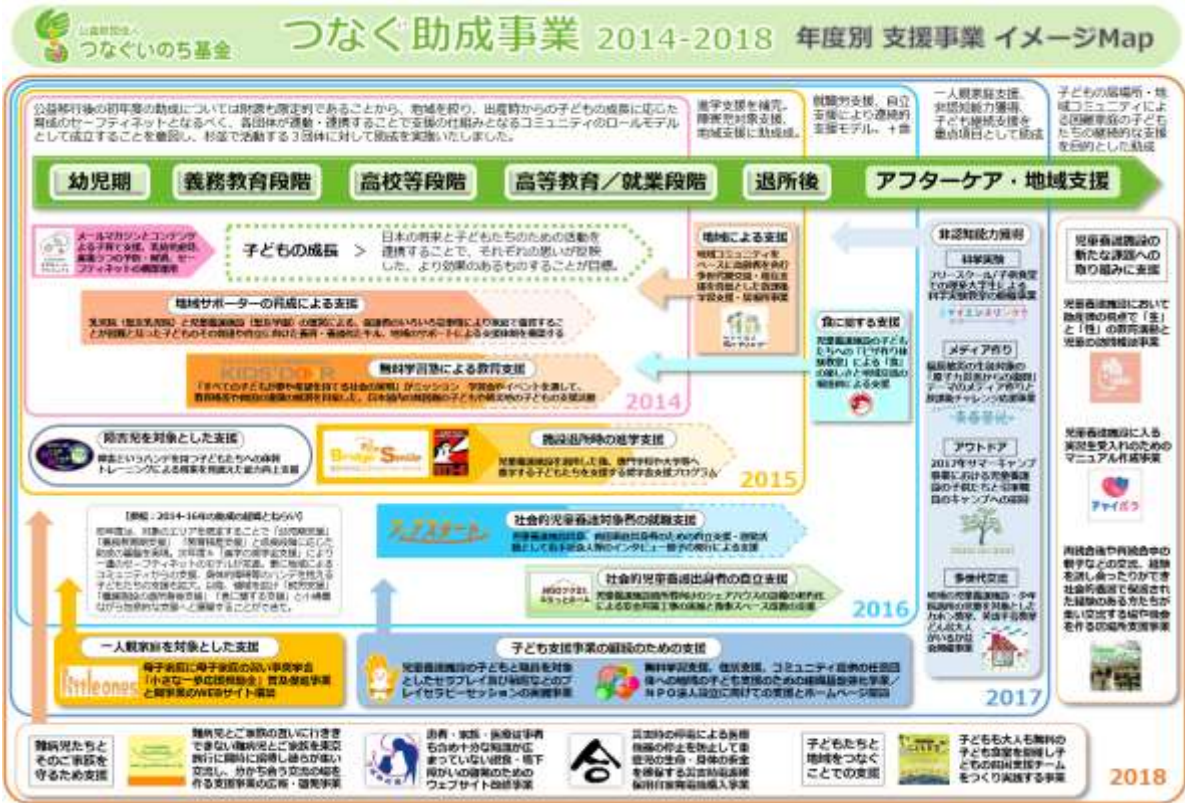
※ 助成金額は1件30万円を標準額としますが、実際の支給額は内容等を勘案し決定します。

※ 継続助成について

継続助成団体は1年毎に継続のための審査(選考委員会)をさせていただきます。審査は申請内容に応じ進捗状況や新たな課題の発見などによるものとします。(単にKPIの達成度ではありません)

- ・申請書は「2020年度対象つなぐ助成応募申請書(簡易ロジックモデル付)」となります。
- ・他の申請とは少し記載内容が増える申請書となりますのでご了承ください。
- ・また、1年単位で継続申請の報告をしていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

少し負荷増となりますが、より大きな助成申請に向けたトレーニングを兼ねるといった意識で取り組んでみていただければと思います。



助成事業のための啓発・広報活動について

乳児院や児童養護施設やグループホーム等の社会的養護施設、又は、社会的養護設に入居する児童および重度の病気や障害で治療をする児童を支援するために活動する助成団体の活動、当財団を支援くださっているボランティアやプロボノのみなさんに当財団および仕組みを運営するため資金として、寄付金や賛助会員の募集、そのための広報、啓発活動を行っています。

■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動「あいりすプロジェクト」

あるセッションでの出会いをきっかけにして、2年生は全員が海外留学するという郁文館グローバル高等学校プログラムの一つであるゼミ活動の一環として、福祉ゼミのみなさんと協働プロジェクトをスタートし3年目を迎えました。助成先取材、児童福祉に関する広報、児童養護施設支援などの協働で活動をしました。

■女子高生による助成先の取材レポート

多くのご支援者の方からお預かりした会費・寄付金が、助成先の事業で有効に利用されているかの確認、支援者様へのご報告を兼ねて、助成先団体への取材を実施しております。

本取材レポートも高校生の協働により、助成事業の社会課題に対する実施状況、どのように子どもたちのためにつながっているかを分かりやすくお伝えすることを意図しております。

多くの助成先団体をウェブサイトに掲載しております。

<http://tsunagu-inochi.org/activities/report/>



■創立 10 周年(公益法人 7 周年)に向けた活動予定

(国連の人間の連帯国際デーである 12 月 20 日で 5 周年です。)

公益 5 周年を記念したしまして平成 31 年度実施予定でしたが、創立 10 周年として令和 2 年度に開催することとし、さまざまなイベントを企画しております。

③ 創立 10 周年記念イベントの開催

支援いただいております賛助会員・寄付者・選考委員・ボランティア・助成先のみなさまをご招待させていただきます。日程が確定しましたらご案内させていただきます。

<予定コンテンツ> 活動 Photo 展示、助成先団体資料展示、助成先団体、協働高校生による発表

④ リーフレット等のツール、ウェブサイトのリニューアル、創立 10 周年記念誌の発行

- ・財団概要説明リーフレット、自分合った支援パンフのリニューアル
- ・冠基金のパンフを新調、そしてウェブサイトのリニューアルも進捗中です。

■活動報告書／会報の作成

活動の報告と支援者とのコミュニケーションとして活動報告書『Link⇔Age』8号を発行しました。



3. 資金調達について

■ 寄付金等 収益の概況

平成31年度の収入は、事業運営資金は理事からとして寄付、一般の方からの税額控除対象寄付となる「個人寄付」、「マンスリーサポート制度」、「社会貢献物品寄付」などによる寄付などの各ファンドレイジングのメニューを100%助成事業に繰り入れさせていただきました。インターネットを中心に当財団の活動に共感いただき、より多くの方にご支援をいただくことができるようになってきております。さらに、新たな寄付方法の選択肢として「冠基金」の設立の提案を開始しご案内を続けております。

■ 収益の推移グラフ



※上記は助成年度での掲載になっており、決算月変更時(P4参照)の助成支給のない会計年度平成31年については省略しております。

■賛助会員の募集及び会費収入について

賛助会員の募集については、プロジェクトのオフィシャルサポート企業からも営業支援をいただき、「全国優良葬儀社名鑑」に記載された葬儀社のうち、関東、関西、中部の大都市圏にある葬儀社を中心に会員募集を行うこととなっておりましたが、賛助会員制度については、平成31年度に決算月の変更を計画していたこと、また供養寄付特設サイトのアップ予定もあったこともあり、あらたな募集は行いませんでした。

令和2年度より、冠基金や遺贈寄付にて新たに連携を予定する土業関連への募集を開始し、次年度以降からふたたびライフエンディング会員・一般企業への勧誘を強化していく予定です。

【平成31年度実績】 個人賛助会員会費総額 9,000円（予算 300,000円）

■寄付金

【平成31年度実績】 寄付総額 5,685,785円（予算 5,820,000円） ※指定正味財産寄付金を除く

マンスリーサポーター(個人月額継続寄付)による寄附金	187,600円
一般個人寄付	89,210円
法人寄付	3,366円
物品寄付	33,609円
当財団理事による寄付	5,372,000円

4. 管理運営状況について

■組織体制強化の必要性に向けて

平成29年6月23日法人設立後初となる内閣府公益等委員会による立入検査によりアドバイスいただいた事項を中心に、収益経路の増強と運営改善による財務基盤の強化と合わせて、公益法人として社会から信頼されるためのフィージビリティの確保、公益目的事業における着実な実績、新たな公益事業の領域の拡大と改善を実行するために、令和2年度計画も含め当財団の組織体制の強化を推進しております。

■事業運営会議体の運営状況

役員会種類	開催日	議案	定期	臨時	みなし
評議員会	2019年2月22日	第1号議案 平成30年度定期報告書類（事業報告書および決算諸表等）について 第2号議案 任期満了評議員の再任について 第3～7号議案 任期満了理事の再任について 第8号議案 監事の新任について 第9号議案 定款の修正について	○		
	2019年11月15日	第1号議案 「令和2年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）に関する承認」の件	○		
理事会	2019年1月24日	第1号議案 平成30年度定期報告書類（事業報告書および決算諸表等）について 第2号議案 任期満了評議員の再任について 第3～7号議案 任期満了理事の再任について 第8号議案 監事の新任について 第9号議案 定款の修正について 第10号議案 評議員会の招集（平成30年6月7日開催予定）について	○		
	2019年1月24日	第1号議案 平成30年度定期報告書類（事業報告書および決算諸表等）について 第2号議案 任期満了評議員の再任について 第3～7号議案 任期満了理事の再任について 第8号議案 監事の新任について 第9号議案 定款の修正について 第10号議案 評議員会の招集（平成30年6月7日開催予定）について	○		
	2019年4月25日	第1号議案 清水祐季 理事の代表理事就任の承認 第2号議案 豊住吉弘 理事の常務理事（業務執行理事）就任の承認 第3号議案 鶴居由記衣 理事の副代表理事就任の承認			○
	2019年10月18日	第1号議案 「令和2年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）に関する承認」の件 第2号議案 「本年度助成選定委員会にて選考された助成先に関する承認」の件 第3号議案 「事務局の非常勤職員化と社会保険の加入に関する承認」の件 第4号議案 「平成31年度第2回評議員会の招集（令和元年11月15日開催）」の件	○		
	常任理事会	2019年 1月10日、2月15日、4月17日、7月10日、10月8日および理事会開催日に実施			